

OPINION

↑デジタル

イタリアでは、国家的なワクチン投与計画が本年初期に策定され、対象者や優先順位、行政による接種認定グリーンパスの無料発行が決まりました。緊急免疫局は、この計画で9月には集団免疫を達成することを目標にしています。8月中旬時点で約7400万回のワクチン投与、12歳以上の人口の66%にあたる3600万人が2回目の接種を受けています。

経済面では、PNRRという国家再興・回復計画にとりこんでいます。これは、次世代のためにイタリアの貴重な遺産を継承し、経済成長を画期的に興隆させようとするものです。地方公共団体は効率的でデジタル化されることが期待され、イタリ

リポート コロナ禍に立ち向かう

世界のいま~日本への提言~

(編集・翻訳 リーム中道進)

国家再興・回復計画、イタリア(下)

19

ア国民は近代的で持続的な交通機関を手に入れます。投資と改革はイタリアを、ダイナミックな労働市場を持ち、ジェンダーフリーで世代間格差のない国にするはずです。この計画は、デジタル化・イノベーション、

国レベルでの貿易赤字の解消、技術開発への投資促進、デジタル技術のインフラ構築を焦点としています。

第二に、エコロジ一面では、国連の2030年憲章と、欧州の新たな開発目標「緑のニューディール」に準拠し、開発モデルを策定しました。これは、環境対策で先行し、次世代への持続可能性が高まっている国々の三つです。

EUとも三本柱を共有、国の将来を構築

エコロジ、社会的包摂(ソーシャル・インクルージョン)で欧州基準を共有しています。

同様、生活の質と環境安全性を高め、排気ガスを低減し、国内各地域の不安定さを防ぎ、環境に対する生産活動の影響を最小化するものです。わ

PNRRの国家再興・回復計画は、次のように展開されています。昨年5月に欧州委員会が「次世代EU」と銘打った7500億円の拠出を提

案、うち1950億はイタリア向け。同7月にEU議会開催中の首脳会議で全体構想パッケージが合意、

第一に、デジタル化とイノベーション面で、わが国とEU加盟国の競争力強化、生産多様化戦略を進め、市場変化への対応を強化するために、

高付加価値化・新規雇用創出につながる

【イタリア経営コンサルタント協会会長 シェザラ・パジニ】

同12月初旬には第1回目の計画素案が提出され、本年1月にEU大臣会議で承認されました。

イタリアでは新内閣が組閣されて、PNRRの詳細が政財界の実務担当者レベルで綿密に議論、EU委員会に送付、本年7月EU承認、イタリア国会で8月中旬に追認されました。PNRRの2026年完了に合せ、重要課題の達成が期待されています。

ワクチン接種とPNRRの改革が計画どおり進展すれば、本年8月時点では、慎重ながらも楽観的な視点から、イタリアの将来はより近代的、効率的、かつ包括的なものになるように思っています。

(月曜日に掲載)